



コロナに負けず 2年ぶり ふるさと芸能大会開催

市老人クラブ連合会は、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行ったうえで、9月2日から4日まで市民会館にて高齢者間の交流や自らの健康保持と増進を図るため、2年ぶりにふるさと芸能大会を開催しました。参加者は、芝居歌謡舞踊ショーやプロの歌謡ショー、腹話術などを楽しみ、「久しぶりの外出で楽しかったです」と笑顔を見せてくれました。



人権文化をすすめる市民の集い開催 約280名が来場

8月22日、加西市民会館に僧侶と落語家の“二刀流”で活躍する露の団姫さんを招き、落語「地獄めぐり」と「一隅を照らす」と題し、自身の生い立ちや体験を交えたご講演をいただきました。また、人権ポスター表彰式も実施。269点の応募作品より、最優秀賞 大野友莉さん、優秀賞 織邊和さん、教育委員会賞 山田もろさん、教育委員会賞 野崎リサさんが表彰されました。



(後列左から) 西村市長、織邊和さん、野崎リサさん
(前列左から) 大野友莉さん、山田もろさん、民輪教育長

北条鉄道 1周年記念「金の鉄印帳」発売

北条鉄道など第三セクター鉄道等協議会が展開している「鉄印帳」の1周年記念として、「金の鉄印帳」の販売が始まりました。鉄印帳は、昨年7月からの企画で鉄道ファンから人気を集めています。今回の金の鉄印帳には、オリジナルの「鉄カード」がついていて、より人気を博しています。運転士の多田直紀さんは「1周年記念の鉄印もできました。ぜひ北条鉄道に乗ってお越しください」と呼びかけられています。



コロナ収束願い ロウソク照らす 五百羅漢「千灯会」

五百羅漢のある羅漢寺で、薬師如来の縁日である8月8日(日)に千灯会が開催されました。当日は、321名の方がろうそくの火に照らされた石仏群の幻想的な雰囲気を楽しみました。また、市内の活動団体等によるミニコンサートも行われ、合唱やハーモニカなど心温まる演奏に多くの方が聞き入りました。



新たなスタート 幅広く魅力発信 観光まちづくり協会が法人化に移行へ

加西市観光まちづくり協会は10月1日、一般社団法人加西市観光協会として新たなスタートを飾ります。9月16日に開催された法人設立総会では、新たに就任した市場博幸会長(加西商工会議所副会頭)が登壇し、加西の観光が更に発展するよう観光協会が先頭に立って行きたいとの所信を述べられました。また、法人設立準備委員会委員長として道筋を付けてこられた濱本泰秀前会長(加西商工会議所会頭)に対して惜しめない拍手が送られました。



下里小3年生 稲刈り体験 自分たちで植えた稲 手作業で収穫

下里小学校3年生30名が、西笠原町営農組合の皆さんの協力のもと、恒例の稲刈り体験を行いました。これは総合的な学習の一環として毎年行っているものです。この日は朝からよく晴れ、児童たちは汗を流しながら、5月に自分たちが植えた稲に実った穂を、鎌で刈り取りました。「稲を結ぶのが大変だったけど楽しかった。早く収穫したお米を食べたい」と話しました。



小学生がブドウ狩りを体験

九会小土曜チャレンジ学習事業

8月21日(土)、九会地区ふるさと創造会議は、土曜チャレンジ学習事業で、九会小学校の児童50名が保護者の皆さんと加西市の特産品であるブドウの収穫体験を実施。初めて入るブドウ畑(桑原田町 菅野孝誠さん提供)で保護者の助けも借りながらブドウの収穫を楽しみました。



賀茂小3年生

賀茂小学校3年生16名が、東剣坂町にある小路重徳さんのブドウ園で、環境体験学習の一環としてブドウ狩りに挑戦しました。児童たちは、袋越しに熟れ具合を確認し、好みのブドウをはさみで切って収穫を楽しみました。田住玲夢君は「初めてで楽しかった。ぶどうは甘くて大好き。帰ってすぐに食べたい」と笑顔で話しました。

